

スリナム内政、経済、外交月間報告

(2021年12月)

在トリニダード・トバゴ日本国大使館

1. 概況

- IMFのスリナムへの6.66億米ドルの支援がようやく理事会で承認され、政府は歓迎の意を表した。中国とインドはスリナムの復興計画を全面的に支援するとの書簡をIMFに発出した。
- 政府は、夜間外出禁止時間を緩和したが、3回目のワクチン接種対象を40歳以上から18歳以上に引き下げた。
- ブランズウィック副大統領及び警護官が新聞記者に不当な扱いを行ったことに報道協会は反発し、副大統領関連記事掲載を2ヶ月拒否すると発表。サントキ大統領は、報道の自由を制限することはないと述べ、副大統領の行為を謝罪した。
- オランダの医療機関との間で、脳外科手術、肝移植への協力覚書が署名され、9月のサントキ大統領のオランダ訪問での合意が実施されつつある。

2. 内政

(1) 新型コロナウイルス

- 2日付政府発表広報紙は、政府は、経済界と協議し、夜間外出禁止開始時間を午後11時からに緩和し、店舗営業は午前5時から午後10時までとすると発表したと報道。
- 16日付政府発表広報紙は、政府は3回目ワクチン接種の対象年齢を40歳以上から18歳以上に引き下げたと発表したと報道。
- 19日付政府発表広報紙は、17日スペインから64,800回分のアストラゼネカが寄贈されたと報道。
- 27日付現地紙は、ラマディン保健大臣は、近隣の仏領ギアナでオミクロン株が確認され、スリナムではまだ未確認だが、警戒を強めると述べたと報道。

(2) その他の内政

- 3日付現地紙は、裁判所は、ボータッセ前大統領自宅から武器を盗んだ容疑者の保釈請求を却下したと報道。
- 6日付現地紙は、サントキ大統領は同大統領夫人の活動は重要として大統領夫人の公的紋章を認めたことに対し、国民からは政府からの発表はなく、透明性に欠けると批判が上がっていると報道。
- 8日付政府発表広報紙は、11月に署名された政労使3者合意が閣議で承認され、合意実施のための担当閣僚が任命されたと報道。
- 8日付現地紙は、国防軍は、警察、沿岸警備隊、国家森林局と協力し、首都等の安全監視を強化し、犯罪行為を取り締まる活動を開始したと報道。
- 13日付政府発表広報紙は、アモクシー司法・警察大臣は、社会事業委員会を立ち上げ、服役完了者への職業助言、更正指導等を行うと発表したと報道。
- 15日付現地紙は、報道協会は、ブランズウィック副大統領のピナス新聞記者

への暴言及びその後の副大統領警護官の同記者への暴力に強く抗議し、今後2ヶ月間副大統領に関する記事を掲載しないことを決定したと報道。16日付現地紙は、サントキ大統領は事件の詳細を発表すると述べたと報道。17日付政府発表広報紙は、サントキ大統領は、国会で政府は報道の自由を制限することはない、副大統領のピナス記者への不当な扱いに謝罪すると述べたと報道。

●17日付現地紙は、裁判所は、ウーフード前財務大臣の金融犯罪に対する裁判で、前大臣欠席のまま懲役12年の判決を言い渡したと報道。

●23日付現地紙は、裁判所は、トリクト前中央銀行総裁への判決言い渡しを1月31日に延期したと報道。

3. 経済

●1日付政府発表広報紙は、11月22～26日にパラマリボ大学病院で、オランダと当国の脳外科医が協力して、脳腫瘍等の複雑な脳外科手術9件を成功させたと報道。

●3日付現地紙は、国営石油社は停止している精油所を12月中旬から再開させると発表したと報道。

●11日付現地紙は、インド及び中国はスリナムの復興計画を全面的に支援するとの書簡をIMFにそれぞれ発出した、サントキ大統領は、これによりIMF支援承認への障害が除去されたと述べたと報道。

●13日付政府発表広報紙は、政府は22年4月から6ヶ月間、オランダのアルメレで開催されるフロリアード園芸博覧会に参加すると発表したと報道。

●14日付現地紙は、野党NDPは、政府が3月にデンマークのハイブリッド電力システム社との間で署名した水素発電所建設に関する契約は、スリナムが25年に亘り同発電所からの電力購入義務があり、国益に反するとして契約を破棄すべきと主張していると報道。

●16日及び20日付政府広報発表紙は、サントキ大統領は、22～26年度の成長及び近代化のための方向性、優先事項等を定める多年度開発計画を発表した、20日同計画は国会で承認されたと報道。

●18日付政府発表広報紙は、ラムディン外務大臣出席の下、アムステルダム大学医療センター、パラマリボ大学病院及びセントビンセンティウス病院の間で、肝移植に関する協力覚書が署名されたと報道。

●22日、財務省は、同日IMF理事会は6.88億米ドルのスリナム支援を承認した、IMFは約5,640万米ドルの即時支出を承認し、残りは段階的に支出される予定、アハイバシン財務大臣は、ここまで数ヶ月の外交努力、困難な改革課題の実施に努めてきたが、ようやく承認され、サントキ政権にとり画期的な出来事となるとの声明を発表。

●22日付現地紙は、中央統計局は、11月の消費者物価上昇率は、前月比で3.2%、前年同月比では63.3%となったと発表したと報道。

●27日付政府発表広報紙は、ラムディン外務大臣の仲介により、スリナム経済協会モロッコ企業連合のオンライン会合が開催され、同大臣は両国の潜在能力に触れ、スリナムがこの地域への玄関口となれること、今回の会合に続くフォローアップ実施を提案したと報道。

4. 外交

- 2 日付現地紙は、スリナム国防軍兵士 2 0 人は仏領ギアナでの 2 日間の密林戦闘訓練に参加したと報道。
- 4 日付政府発表広報紙は、同日サントキ大統領はドバイ万博から帰国し、万博を通じてスリナムを多くの国に紹介できた、アラブ首長国連邦との会談で両国関係を強化することで一致し、大きな成果を収めたと述べたと報道。
- 6 日付政府発表広報紙は、ラムディン外務大臣及びザネン・オランダ自治体連合協力会長は、両国の地方都市間の協力に関する覚書に署名したと報道。
- 6 日付政府発表広報紙は、ラムディン外務大臣は 3 日の第 3 回ラテンアメリカ・カリブ諸国共同体（C E L A C）中国外相会合に出席し、スリナムは 1 つの中国政策及び一路一帯計画を遵守すると述べたと報道。
- 9 日付政府発表広報紙は、サントキ大統領は、バイデン米大統領主催の民主主義サミットに出席し、当国の民主主義は平和と安全を保障する基本的役割を担っていると述べたと報道。
- 1 6 日付政府広報発表紙は、サントキ大統領は、スリナムが 2 2 年後半のカリコム議長を務めることに関し、カリコムの目標を達成するため、先見性と自発性を持って務めたいと述べたと報道。
- 2 2 日付現地紙は、アブダルラーマン国防省防衛局長は、新たな国防分野での国際協力の指針として戦略的パートナー国の選定、主権の死守、ウィンウィンの協力等を発表したと報道。
- 2 4 日付政府発表広報紙は、1 6 日にコトヌー条約第 8 条の政務協議が開催され、スリナム側はラムディン外務大臣、E U 側はペレス E U 対外行動庁米州担当副局長が団長を務めたと報道。
- 2 7 日付政府広報発表は、2 1 日、スリナム商業協会と商工会議所がオンラインで会議を開催し両国の協力関係について協議し、外務省が進行役を務めた、ラムディン大臣は今後より具体的な計画を協議するためのフォローアップ会合を開催することを提案したと発表。
- 2 8 日付政府発表広報紙は、新国連大使にシタルディン大使が任命され、同日、サントキ大統領への宣誓が行われ、大統領は新大使にスリナムの国益増進を指示したと報道。

※これは、報道等公開情報をまとめたものであり、報道の真偽まで確かめたものではありません。